



株式会社アイヤマ観光

業種	運輸・郵便業	事業所所在地	茨城県常総市	資本金	10,000千円
				従業員数	24名

 	被承継者（左）	
	相山 典央	72歳 ※承継時
	承継者（右）	
	相山 隆司	43歳 ※承継時
事業承継を行った時期	被承継者と承継者の関係	
2019年5月	子ども	
承継前の主たる事業の内容	承継前の主たる事業の課題	
貸切運送旅客事業	・新市場への参入 運転免許の法改正後、運転手の確保が難しくなり、国土交通省の業界への指導により人件費が高騰した。また、旅行者の旅行の仕方が変化し団体での旅行者が減少し業種的に事業環境が厳しくなった。	

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 3年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
商工会青年部内の会議において、地元を活性化するためどのようにすべきかを話し合っているとき、運転代行が少ないので開始してもらいたいとの意見が出たこと、また、社長の高齢に伴い行うこととなった。	体調を崩してしまい、どのように事業を継続してゆけばよいか、また、観光業の受注が減少しており収入を確保するために承継者がどのような考えを持っているかを話し合った。	設備投資をした後、回収まで時間がかかる業種なので、無理な設備投資をしないか、同業者や地域の消費者に受け入れられるかが不安であった。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	金融機関、取引先並びに同業者に二人で訪問し引き継ぎの経緯を説明し、取引を継続してもらうようお願いをした。	事業を承継するにあたり、業界の環境が厳しくなる中、支払いや運転資金の確保についての不安が一番強かった。

これに一番苦労した！

業界の環境の変化により、収入が減少していた中、新たな市場を狙う為、タクシーの買収に金融機関等と働きかけをしたが上手くいかなかった。当時は、19時以降、タクシーが止まり、運転代行が主流となっている。運転代行の代表が高齢であったが、この事業を引き継ぐための代表との交渉、事業を開始した時の収入を確保するために飲食店へあいさつに行き取引先を確保するのが一番苦労をした。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	当初、当社はタクシー会社を買収し、福祉タクシー及び福祉バスを行う考えを持っており、どのように事業を進めてゆけばよいか相談をしたところ、買収の方法や事業計画について、経営革新で事業計画を立ててはとアドバイスをもらい、ミラサポ等の施策の紹介を受け中小企業診断士を交えて計画を立てた。その後、タクシー会社の買収がうまく行かず、計画の見直しを余儀なくされた。計画の見直しをする段階で市内の飲食業者から運転代行が市内に少なく、既存の運転代行業者が廃業をする話があったので、再度商工会に相談したところ、タイミングよく事業承継補助金の話を受け、経営革新等に係る取組の内容を新たに作成して事業承継補助金の申込となりました。
いつから相談？	
承継実行の 3年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

経営革新等に係る取組の標題

新規運転代行の開設による販売拡大

経営革新等に係る取組の内容	新役務の開発又は提供
<ul style="list-style-type: none"> ●常総市では昨年度もタクシー会社が2社廃業したために、移動手段が減り困っている人たちが多く、また、飲食業者からは市内に運転代行が少ないという声も多かった。そんな中、運転代行業者が廃業する話があった。 ●そこで、事業承継を契機に運転代行の個人事業者から自動車を含む設備等を買取りこれまで行ってきた観光バス事業に加えて、新たに運転代行業を行う。 ●運転代行業を行うにあたり、事務所を改装して、空調設備、給湯設備、運転手の仮眠スペース等を確保し、随行車両管理のためにドライブレコーダーとIP無線機の導入。さらに、新たに購入した車両にはお客様に請求する料金の明確性を示すため電子決済器と料金メーターも導入した。 ●運転代行サービスに加えて、これまで培った観光バスのノウハウを組み込むことで、競合他社との差別化を図っていく。 	
	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳		
運転代行を行うことで、市内の飲食店に喜ばれ地域活性化につながると同時に、当社の観光バス事業と相乗効果が出てきている。	<table border="1"> <tr> <th>経費の主な使い道</th> </tr> <tr> <td> 設備費（ドライブレコーダー、料金メーター、IP無線導入費等） 外注費（パンフレット・チラシ制作費、車両ステッカー作成費、ホームページ制作費） </td> </tr> </table>	経費の主な使い道	設備費（ドライブレコーダー、料金メーター、IP無線導入費等） 外注費（パンフレット・チラシ制作費、車両ステッカー作成費、ホームページ制作費）
経費の主な使い道			
設備費（ドライブレコーダー、料金メーター、IP無線導入費等） 外注費（パンフレット・チラシ制作費、車両ステッカー作成費、ホームページ制作費）			

認定経営革新等支援機関の名称：常総市商工会			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施
事業承継補助金の制度の説明から申請、採択後の事務局との連絡や実績報告書の作成についてサポートを受けた。			

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	運転代行業と観光バス事業の相乗効果で市内での認知度を向上させ、市内で一番の観光バス会社を目指す。また、商工会青年部で培った人脈を活かし観光バス事業を活性化させ事業の拡大を行いたい。
売上高 10 %UP	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
今回は体調を崩しての事業承継となったが、早い段階で承継を行わないと承継者が困ったときに良き相談者となれないので、良いタイミングで承継ができたと思う。	事業承継を行うと非常にづらい思いをするが、前社長が動けるうちでしか、話し合いができないので、早めの承継は必要だと思った。